



林 声

2018

3月号



株式会社戸川木材（新見市）に勤務されている忠田（ちゅうた）あかりさん。
グラブプルを操作し、間伐材や林地残材をチップ化しています。

目 次

おかやま林業女子	技能講習等情報	10
林業で活躍する女性特集（忠田 あかりさん）…	林産物市況	11
2	事務局からのお知らせ	13
がんばる認定事業体（株式会社藤本林業）…	森林・林業施設の紹介	14
3	（西粟倉村の木造建築施設）	
普及指導区の情報（高梁支部）…		
4		
ニューフェイスです！		
（株式会社百森 田畑 直・中井 照太郎）…		
5		
事業紹介（研修事業の成果）…		
6		
林政課からのお知らせ		
7		
林務の職場（倉敷市農林水産課）…		
8		
山火事の防止、林業就業ガイダンス		
9		

【ぼっけ〜木になる情報】

Q.「おかやま
ジビエガイド」って
何ですか？



おかやま森林の大使

特集

おかやま林業女子

株式会社 戸川木材

ちゅうた

忠田あかりさん

【新見普及指導区】

一 会社概要

株式会社戸川木材は平成8年に会社を設立し、素材生産と木質バイオマス発電向けの燃料を中心にチップ製造も行っています。

平成28年度の素材生産量は約34、600立方メートルであり、本年度は前年度の10%増の生産を見込んでいます。

(戸川木材のホームページ

<https://togawatimber.co.jp>)

二 経歴

入社して約半年になる忠田さんは旧神郷町の出身で、小さい頃は近所の野山でよく遊んでいたとのこと。

大学時代は千葉県で過ごされ、卒業後1年くらい関東の一般企業に就職された後、新見市へ戻り、市内の会社で事務の仕事がされていたそうです。

三 就職のきっかけ

「株式会社戸川木材で働いていた知人から紹介を受けました。」

自然に囲まれた屋外で仕事をすることへの憧れもあり、会社見学での説明を聞き、身内の後押しもあって、就職を決意しました。」

四 現在の仕事内容は

「採用後に車両系建設機械の資格を取得し、会社の近くにあるチップヤードでチップを製造しています。」

会社の事務を兼務しながら、素材生産現場等から搬入される間伐材や林地残材、樹皮をグラップルで、荷下ろし、形状ごとの選別、チップへの投入作業を行っています。

トラックの運転手が手伝ってくれることもありすが、通常は1人で作業をしています。

機械操作の経験が浅いため効率的な作業が行えていないと日々痛感しており、操作技術の向上に努めています。

また、チップ製造では社長や先輩作業員のアドバイスを受けながら、特に異物が混入しないよう品質管理には細心の注意を払っています。」



作業状況

五 今後について

「林業は機械化が進んでおり女性も活躍できる仕事だと思っています。」

これから、さらに森林・林業についての知識や技術を身に付けたいので、色々な研修を受講して、新たな資格も取りたいと思っています。将来は素材生産現場で、伐倒から搬出までの一連の作業を、高性能林業機械で熟せるようになりたいです。

また、1月には、岡山市内で開催された、林業就業ガイダンスへ「新見市林業担い手対策協議会」の一員として参加し、林業への就業を考えている女性とも話す機会がありました。同じ職場に仲間が増え、いずれは女性だけの作業チームができればいいなと思っています。」

六 女性の力を現場へ

戸川陸徳社長は同協議会の会長も務められており、地域林業の発展を見据え、担い手の確保等様々な活動に取り組まれています。

「人口減少等が原因で市内外の様々な産業において、担い手確保に苦慮している状況は明らかです。林業の重要性や魅力発信は必要不可欠で、これからは女性の力も必要となってくるでしょう。忠田さんには、将来、新規参入者へ指導できる人材になってもらいたいと思っています。」

地域林業の担い手として、女性の林業従事者が増え、林業が身近で魅力ある職場になっていくことを期待されていました。

七 終わりに

新見地域では、忠田さんのほか、女性林研グループが3団体あるなど女性が大いに活躍されています。女性パワーが地域の活力となっており、ますます地域が活性化するように普及活動を展開していきたいと思えます。

(林業普及指導員 本田 尊大)

がんばる認定事業体

株式会社

藤本林業の紹介

【津山普及指導区】



一 はじめに

株式会社藤本林業は、津山市加茂町公郷に事務所を置き、岡山県北地域を中心に素材生産を行っています。

今回は、代表取締役の藤本純弥氏（32歳）から活動内容についてお話をお聞きしました。



集合写真
※後列中央が「藤本社長」

二 株式会社藤本林業の概要

株式会社藤本林業は、平成27年7月に設立され、素材生産を中心に事業を展開しています。元々は

先々代の藤本光美さんの代から地元である津山市を中心に家業で素材生産を行っていましたが、現在の社長である藤本純弥氏に家業が引き継がれたことを契機に法人化し、積極的に事業を展開しています。現在は、弟の直也氏とともに役員2名、現場作業員6名（2班集体）で業務を行っています。若い作業員が多く、活気のある会社です。

三 事業活動の概要

現在は、自社有林や地元森林所有者からの委託による搬出間伐を中心に、平成28年度は年間約4,800立方メートルの素材生産を行っています。

作業システムは、チェーンソーやフェラーバンチャ（ザウルス）による伐倒、プロセッサによる造材、林内作業車による搬出、グラップルによる積み込みを行っており、グラップル2台、フェラーバンチャ（ザウルス）1台、プロセッサ1台、林内作業車2台を所有しています。平成28年12月には新たに2名の採用により、現在の2班体制に移行しています。また、平成30年度にはリース事

業により新たにハーベスタの導入を計画しており、施業困難な急峻区域の山林の整備など、積極的な事業拡大を目指しています。



伐倒作業



枝払い作業

四 特徴的な活動

藤本林業では、事業拡大を図る上で作業員の確保は必須と考えており、社会保険や福利厚生の充実を図っています。

また、ここ2年で3名の新規雇用を行い、新規就業者には「緑の雇用」現場技能者育成推進事業を

活用し、林業の知識や技術を習得させることも積極的にを行っています。藤本社長によると、「今後は、営業範囲を県内だけでなく中国5県まで拡大し、取引先からの要望に応じて、フットワークを軽くして可能な限り対応したい。」とのこと。実際に県外からの引き合いも多くあり、積極的に取り組む予定です。



プロセッサによる造材

五 終わりに

将来の素材生産活動や会社経営のビジョンを描きながら、積極的に新規雇用を行い、高性能林業機械を導入するなど、事業規模の拡大を目指しており、今後の活躍が期待されます。

津山普及指導区としてもさらにご活躍していただけるよう、引き続き支援していきたいと考えています。

（林業普及指導員 佐藤 雅之）

**高梁地域での森林・
林業のPR活動の紹介**
【高梁普及指導区】

一 はじめに

高梁普及指導区では、毎年、将来を担う子供達へ木に触れ、木に親しんでもらう木工体験の場を提供する活動を行っていますので、その取組を紹介します。

二 木工教室を通じた森林・林業のPR活動

高梁市有漢地域では、平成8年の岡山自動車道の開通を契機に「交流」をテーマとして「風を集め、風を起こすまちづくり」を展開しており、その象徴的なイベントとして、高速道路を生かした太平洋から日本海までの南北軸を基軸とした交流をテーマにした「風ぐるまフェスタ」が毎年開催されており、今年度は平成29年10月29日に開催されました。

このイベントに、当普及指導区が参加し、木工教室等を開催することによって森林・林業のPRを行いました。

三 事前準備

高梁普及指導区では、イベントの1ヶ月前から、松ぼっくりやドングリ等の木の実、小物づくりのため、コナラ、ヤマザクラ、シラカシ、ソヨゴなどの木片の研磨等や鉛筆型のキーホルダー用の小枝を適寸に加工するなど準備を行いました。

特に、木片を使った作品づくりでは、自由な発想で作品を作ってもらいたいことから直径3〜10mm程度の太さの物を用意し、リース等の見本も制作しました。

四 実施状況

木工教室を待ちわびる子供らは、開店と同時に駆け寄り、見本を見ながら、「これかわいい。どうやって作るの?」、「一緒に作って」などと初めの頃は、スタッフへ支援を求めてきますが、ほんの少しの手助けを行うだけで、後は自分の想像力を働かせながら、自由に作品を制作していました。

子供達への指導に当たっては、使用する鋸・ナイフなど刃物の取扱には細心の注意を払うとともに、特に、電動工具については、林業普及指導員が使用するなど安全面

には十分配慮を行いました。

県南から家族連れで来られた参加者の中には、「毎年、木工教室を楽しみに来ています。私の子供が3年前に作った作品を今でも家の玄関に飾っています。」という方もおられました。

また、保護者の方には、子供達が制作している合間に、森林・林業PR動画の鑑賞をしていただくとともに、おかやま森づくり県民税に関するアンケート調査に答えただきました。

後日、アンケートを集計したところ、約7割の方が「おかやま森づくり県民税について知らなかった



木工教室の状況



太丸の輪切とドングリの作品

た。」と回答されるなど、森林・林業について継続したPRの必要性を再認識したところです。

五 おわりに

このイベントは、将来を担う子供達に木材に触れ、親しみながら学べる場であることから、今後工夫を重ねつつ、効果的な体験の場となるよう活動を継続していきたいと思えます。

また、一般の方々にも森林・林業に関心を持っていただける場となるよう取り組んで行きたいと思えます。

(林業普及指導員 木村 正三)

ニューフェイスです 〔勝英普及指導区〕

株式会社百森

田畑 たばた 直 すなお (31歳)

中井照大郎 なかいしやうたろう (31歳)

今回は西栗倉村に設立した株式会社百森の創業時のメンバーとなった田畑さん、中井さんを紹介いたします。

一 経歴

田畑さんと中井さんは小学校の同級生です。田畑さんはIT分野のベンチャー企業を経て、中井さんは海外の天然ガスや国内の再生エネルギー会社を経て、西栗倉村のウェブサイトを募集により、東京から移住を決意し西栗倉村に來られました。

西栗倉村は全国に先駆けて村内の森林を管理し、少ない費用で多くの木材生産ができる体制を構築しつつあり、今回産業として成立できる新たな組織（企業）の立ち上げることとし、それにこの2人が採用されたものです。

二 株式会社百森とは

西栗倉村では平成20年より「百年の森林構想」を掲げ、村面積の95パーセント以上を占める森林資源を大切に守り育ててきています。株式会社百森は人が山とともにある社会をつくる組織として、西栗倉村にある山の「経営」を目指し、山を継続的に管理できる体制づくりと、その価値を高め社会へと還元させる仕組みづくりを目指した企業です。

三 彼らの仕事は

西栗倉村に來てから、彼らは村内の多くの方々にお話しを聞き、山に入って森を見たりしながら、森林・林業について学んでいるところなんです。そうした中、「百年の森林構想」には色々な課題が多いことを感じ、百年後の山がそのときの西栗倉村に居る人たちに取ってより良いものであるよう、今すべきことは何か、そんなことを考えながら仕事をしています。

具体的には山林の長期的な計画を立てることや、短期的な施業を適切に回していくことが会社の主な業務となります。自分達がこの世にいないであろう

未来に、どのような山を引き継ぐことができるのか。先達が遺してくれた想いを受け継ぎながら、将来の世代にできるだけ多くの価値を譲渡できるように、山林のゾーニング提案や、それに必要な情報収集、データ化や計画の立案などを、西栗倉村役場と連携しながら行っています。

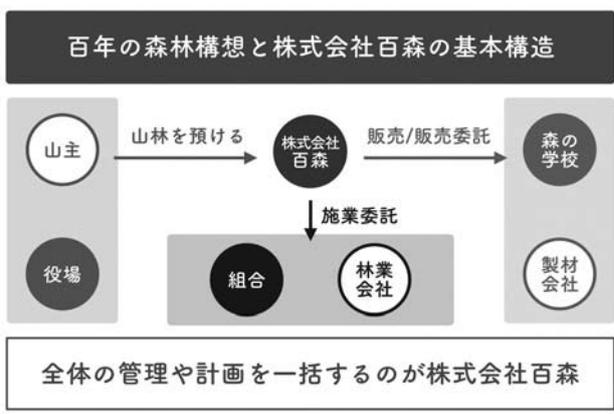
また、長期的な視野を持ちながら、目の前の山に向き合い、西栗倉村の林業が適切に行われるよう山林所有者との交渉、路網の設計や踏査などの調査業務、現場の管理や施業力の向上に関わる研修の手配など、「百年の森林構想」を進めていくために必要な業務を行っています。

この他にも、林業事業体の事務手続きの支援や、木育イベントの運営など、西栗倉の山に関わる人を応援する業務も積極的に行っています。

四 これからの抱負

田畑さん、中井さんはどちらも東京生まれの東京育ちです。林業とは畑違いのところから來た彼らは、机上の空論を振りかざしていても山は動かないことは道理だと

考えており、山とともに人生を歩んでこられた先輩方に叱咤激励を頂きながら、百年後の山や森について一緒に明るい未来を描ける仕組みを実現したいと考えています。そのためには山の経営が健全化されるのが一番と考えています。そして、「次世代に百森が残してくれた山があつて良かった。そう言つて貰えれば嬉しい。困難な使命ですが、多くの先輩方に日々たくさん叱られながら、あらゆることを学び、少しずつ前へ進んで参りたい。」と話されていました。



（林業普及指導員 小倉 浩一）

平成29年度研修事業の成果について

本県では、今後の林業のあるべき姿、その実現に向けて取り組むべき基本方針を示した「21おかもま森林・林業ビジョン（平成27年3月改訂）」を策定し、各種施策を推進しているところである。

岡山県農林水産総合センター（普及連携部普及推進課林業普及推進班）では、これら施策の一つである「林業労働者の育成・確保」、「林業作業士等の人材育成」を図るため、林業事業者や高校生等を対象とした研修を実施しています。今回は、このうち、次の3つの研修について、その成果をご紹介します。

一 現場指導者育成研修

林業の労働災害発生率は他の産業よりも非常に高い状況にあり、そのほとんどは立木伐採作業中に発生しています。このため、安全で正確な伐倒技術を習得し、その技術を伝えることのできる指導者を養成する研修を本年度から新たに実施しました。

確実に伐倒点に倒すための受け

口の作り方の技術やチェーンブレイキの徹底などを実習で学んだほか、座学では作業中に起こりうる災害リスクを想定し、その回避改善策について時間をかけて検討し、内容をまとめました。



現場指導者育成研修

二 森林作業道作設オペレーター育成研修（基礎的指導者育成）

持続可能な林業経営を展開するために、路網整備が不可欠であることから、丈夫で繰り返し使用可能な森林作業道づくりに必要な知識や施工技術を有するオペレー



森林作業道作設オペレーター育成研修

ターや、その指導者を養成するための研修を実施しました。

基礎研修では、路線計画、踏査選点、支障木の伐倒処理、基礎土工を、また、応用研修では、応用土工として曲線設定（S字カーブ）を重点的に学びました。

また、指導的立場の人材を養成する新規指導者育成研修では、より高度な作設技術の習得はもとより、分かりやすい説明方法や指導方法などについて学びました。

本年度は、基礎研修、応用研修に各8名が受講しました。最終ステップである新規指導者育成研修では3名の方が研修を修了され、今後は本研修の講師など、オペレーターの指導を担います。

三 高性能林業機械現地研修

林業への就業促進を図るためのインターンシップとして、県立勝間田高校など林業関係学科の高校生を中心に、ハーベスタ、フォワーダなどの高性能林業機械を操作する体験学習を実施しました。

延べ5日間の研修に高校生が43名、大学生等が5名参加し、機械操作に不慣れの中でも熱心に作業を行っていました。この参加者の中から一人でも多く林業就業者が誕生することを期待しています。



高性能林業機械現地研修

平成30年度も、こうした研修を引き続き実施することにしております。

（普及推進課 林業普及推進班）

林政課からのお知らせ

副読本※1「もっと知りたい岡山の森林」って、ご存知ですか？

岡山県農林水産部林政課では、森林の働きや林業の役割、木材利用の意義等について、子どもたちが興味をもって学習できるように、県内の身近な事例を交えて編集した小冊子「もっと知りたい岡山の森林」を作成しています。

小学校5年生社会科の授業で森林の働き等について学習する副読本として、教育庁義務教育課の協力を得て編集したもので、県内の小学校に配布しています。

また、平成30年3月に一部内容をリニューアルして、県内小学校や各種イベント等において、配布をする予定です。

なお、岡山県農林水産部林政課のホームページにも掲載しています!!

コンパクトで、わかりやすい言葉遣いを心がけて作っていますので、ぜひ一度ご覧ください!

※1 授業で、教科書に準じて用いられる補助的な図書。

【岡山県ホームページ】
<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-21757.html>



企業等による森づくりに 参画してみませんか？

近年、社会から企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility) を求める動きが高まっており、企業の社会的側面を積極的に評価しようという規範が形成されてきています。

CSRとは従業員の労働面での人権保護、地球環境や地域社会など、多様で大勢のステークホルダー(利害関係者)に配慮した経営のことであり、その活動として森林保全活動などがあります。

岡山県では、環境問題への関心の高まりを背景に、「企業との協働の森づくり事業」を実施しており、社会貢献活動の一環として森林保全活動に取り組みとうとする企業等の皆様からの要請に応じて、活動可能な森林の紹介、森林所有者や地域との橋渡しをはじめ、活動プランの提案など、様々なお手伝いをしています。

また、企業等による森林保全活動の実績について、整備された森林による二酸化炭素吸収量として評価・認証する「岡山県二酸化炭素森林吸収評価認証制度」により

認証書を交付しています。

CSR活動として一度、森づくりに取り組んでみてはいかがでしょうか。

お気軽に、ご相談ください。

【連絡先】

【県内の企業の方】

※最寄りの県民局へ

○備前県民局農林水産事業部
 森林企画課

☎086(233)9833

○備中県民局農林水産事業部
 森林企画課

☎086(434)7051

○美作県民局農林水産事業部
 森林企画課

☎0868(23)1377

【県外の方】

○岡山県農林水産部林政課

☎086(226)7451

【岡山県ホームページ】

<http://www.pref.okayama.jp/page/443082.html>



▼林務の職場▲

倉敷市農林水産課の紹介

一 はじめに

倉敷市は、岡山県の南西部に位置し、総面積35,563鈔のうち約28%を森林が占めています。民有林面積は9,909鈔で、そのうちマツを主体とした人工林率は約8%となっています。平成29年2月1日には倉敷・児島・玉島の旧3市が合併して50周年を迎えました。

二 取組状況

農林水産課は、農政係、農林振興係、水産係、地産地消推進係の4係で構成されており、森林関係業務は農林振興係が担当しています。

主な業務は、貴重な観光資源である児島地区の松を保全するために行う薬剤の地上散布や樹幹注入等の松くい虫対策、人と自然のふれあいや憩いの場として整備されたふれあいの森と美しい森の施設管理、山地災害の予防復旧を行う治山事業などです。

また、森林のもつ水源のかん養

等の公益的機能の維持増進を図るため、高梁川上流地帯に水源林を保有し、保育や間伐等を行いながら、森林と水循環を通じた上流と下流の交流を深めています。



新見市内に保有する「絆の森」



スパウダーによる薬剤散布

三 スタッフ紹介

課長・岡本 規利、課長補佐・北村 龍二、主幹兼農林振興係長・多田 哲也、農林振興係主任・阿部 好晃、大上 佳尚、三村 明史（森林関係業務担当）、農林振興係主事・桑田 恭兵（森林関係業務担当）、高橋 華佳、嘱託職員・田尻 忠信
以上のスタッフで業務を進めています。

（倉敷市 文化産業局

農林水産部 農林水産課

桑田 恭兵

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーム 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕

太陽と緑の国づくり

Nihon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

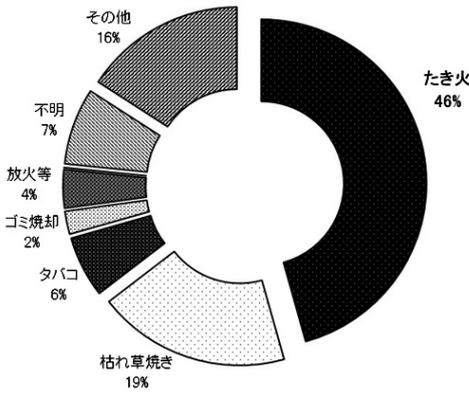
NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

3月は山火事予防運動月間です

春先は、空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が非常に起こりやすくなります。

県では3月を「山火事予防運動月間」と定めて、県民の山火事予防意識の啓発を図っています。

県内では、過去五年間に265件の山火事が発生し75分の緑が失われています。その原因は、たき火の不始末、枯れ草焼きといった人の不注意によるものがほとんどです。



ひとたび山火事が発生すると、一瞬で大切な森林が失われてしまいます。

今年の統一標語は「小さな火

大きな森を 破壊する」です。山

火事を防ぐ6つのポイントに注意して、大切な森林をみんなでも守り、未来へと引き継ぎましょう。



※山火事を防ぐ6つのポイント

- 強風・乾燥時はたき火をしない
- たき火の後始末は完全に人ではない
- 枯れ草焼きやあぜ焼きなどは一人ではない
- タバコの投げ捨てはしない
- 子供の火遊びはダメ
- 火入れをするときは許可を受けよう

(治山課造林班)

**林業就業ガイダンスが
開催されました!**

平成30年1月21日(日)、ピュアリティまきび(岡山市北区)で、県は公益財団法人岡山県林業振興基金とともに、林業の担い手確保を目的とする就業ガイダンスを開催しました。

林業関係者が主催する県内ガイダンスは初めての試みであり、期待と不安で当日を迎えましたが、24名の方に御来場いただき、遠くは京都、大阪等からの来訪もありました。

会場には、地域林業の担い手サポート事業に取り組む7市町村(津山市、新見市、真庭市、鏡野町、美咲町、新庄村、西粟倉村)の各協議会が相談ブースを設け、協議会の構成員である市町村や林業事業体の選り抜きのメンバーが相談に応じました。

各ブースでは、林業事業体の職員が、自然の中で働くことの素晴らしさや現場作業の厳しさについて自らの経験を交えて説明をし、また、市町村担当者は地元行政の強みを生かし、住居等の生活に欠くことの出来ない情報を併せ伝え

るなど、就業への不安や質問に対してきめ細かく応じていました。

林業紹介コーナーでは、協議会が作成したPR動画を放映したり、地域の事業体を紹介した冊子等を備え置いたりして、林業の魅力も伝えました。

相談者の多くは、就業の選択肢の一つとして林業を検討しており、今後、一日林業体験や相談会の情報提供等によるフォローアップを図り、相談者の動向を見守っていくこととします。

相談会が更に充実したものとなるよう、林業振興基金や市町村協議会の連携の下に、来年度も取り組んでいく予定であり、こうした取組が他の市町村にも広がっていくよう期待しています。



相談ブースの様子

(林政課普及指導班)

技能講習会の開催（4月～6月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	5月17、18日	一般社団法人岡山労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	津山	6月6、7日	
玉掛け	岡山	4月5、6日、5月10、11日	
	新見	5月24、25日	
	津山	5月30、31日	
フォークリフト運転	岡山	4月4日、5月9日	
	新見	4月5日	
	津山	4月16日、6月1日	
伐木（特別教育）	津山	6月11、12日	
刈払（安全衛生教育）	津山	4月25日	
	岡山	5月23日	
	新見	6月5日	
はい作業主任者	岡山	5月17日	陸上貨物運送業労働災害防止協会 岡山支部 TEL (086) 234-1332
林業架線作業主任者 （免許）	福山	6月21日	中国四国安全衛生技術センター TEL (084) 954-4661



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



林産物市況



木 材 (2月16日)

単位：千円/㎡

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り
杉	3 m	14~16	12	—	檜	3 m	14~16	20	16
		18~20	10.5	—			18~20	18	16
		22~28	10	—			22上	16.5	14.5
	4 m	18~22	10	—		4 m	14~18	20	17
		24~28	10	—			20~22	16	15.5
	6 m	16~18	15	—			24~28	16	15.5
松	3 m	18~22	10	8	6 m	16	30	—	
	4 m	18~22	10	8		18~20	30	—	

・ 出荷材積 約1,000㎡

(共販所より概況)

杉概況：

【3 m】

【4 m】

柱 材 横這い 中目材 横這い

中目材 横這い 元 木 横這い

松概況：—

檜概況：6 mは18cm以上の直材をお願いします。

【3 m】

【4 m】

柱 材 横這い 柱 材 横這い

中目材 横這い 中目材 横這い

元 木 横這い 元 木 横這い

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (2月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ~ 高 値 (円/㎡)
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	53,000 (直送) ~ 58,000 (市場)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	53,000 (直送) ~ 58,000 (市場)
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	60,000~65,000 (背割無)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	58,000~65,000 (背割無)
マ ッ	平角 4 m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	58,000~60,000
	平角 3 m、4 m 10.5×15~21cm	特等	G	60,000~
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	70,000~75,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	57,000~

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



CT-500C GP-532
小国ハイパープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社
津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
〔樹皮食い防止に〕 バークガード 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤
(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社 大同商事(株)大阪営業所
TEL：086-292-5525 TEL：06-6231-2819

 「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間
春のみどりの月間
4月1日～5月31日
秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086)221-9511

【共販日（記念市）のご案内】 岡山県森林組合連合会 

4月10日（火）津山木材共販所 開設56周年記念市
4月19日（木）勝山木材共販所 真庭木青協特別市
開設52周年記念市
4月23日（月）新見木材共販所 開設54周年記念市
◆各共販所へ多くの出荷をお待ちしております。
6月8日（金）乾しいたけ春季特市

 多数のご出品・ご参加をお願いします。※5月23日（水）出品物受付締切
また、岡山県乾しいたけ品評会等の褒賞授与式を6月28日（木）に開催します。



林声

平成三十年三月一日（第四五八号）
（隔月一日発行）

編集 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
発行 〒700-8570 岡山市北区内山下二一四一六



① 完成予想

「西粟倉村の木造建築施設」
林業を軸とした地域再生に取り組んでいる西粟倉村では、現在、木造施設の整備が進んでいます。

① 道の駅「あわくらんど」のトイレ（CLTパネル工法）
② 西粟倉 子供の森 保育園
③ 木工房「ようび」の社屋

いずれの施設も今年の春には完成の予定で、今後も村庁舎や福祉施設を木造で整備する計画です。お近くにお越しの節は、是非ご覧下さい。
（勝英普及指導区）

森林・林業施設の紹介



③ 建設中



② 建設中

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE

森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？
火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。
岡山県では過去5年間で約2千7百万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 21,225円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 37,375円（5年間計）

1ヶ月あたり 約350円

→ わずかおむすび 3個分

1ヶ月あたり 約620円

→ わずかラーメン 1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。